大仙市立中仙小学校　学校報

輝く ひとみII

令和３年度 第３３号
令和３年９月１日

学校教育目標　　ゆめにむかって えがおいっぱい みんなでチャレンジ

＜実りの秋に、いざ＞

９月からの３か月間が、ものを言う

今日から９月。まだまだ日中の暑さは続きそうですが、朝夕は随分涼しくなりました。野菜も果物も、もうすぐ実りの秋です。花壇の花や校長室窓のアサガオも、今もってまだまだ成長中です。９月、１０月、１１月の３か月間は、学校にとっての実りの時期。心も身体も、そして学力も充実の時期を迎えます。一人一人が夢や希望、「なりたい自分の姿」をもてるよう、そして自分を高めていけるよう、応援していきたいと思います。

１年生が中庭で、秋の虫さがしをしていました→

伝統をつなぐ（長野ささら）

８月１６日(月)、中仙地域伝統芸能記録会がドンパルを会場に開催され、本校の「長野ささらクラブ」も参加しました。クラブメンバーの３人（30号で紹介）のほかに、４年秋山桜叶さん、３年皆川煌星さん、千葉陽太さんも特別参加しました。

今回の催しは、ここ３年あまり中止が続いている中仙地域の伝統芸能等を、映像記録として残し、後世につなぐ目的で開かれたものです。

６人は夏休み中にも練習を重ね、本番に備えてきました。学習発表会でも披露してくれます。

コロナ、今が頑張りどき

一年半年前、ここまで感染症が続くとは思ってもみませんでした。誰もが意識し、励行している「新しい生活様式」は、当分の間は続きそうです。お子さんはもちろん、本校関係者みんなを守るため、学校からは今後も厳しいお願いをすることが予想されます。また、中止や延期など、行事等の縮減も考えられます。どうかご理解の上、ご協力をお願いします。

パラリンピックが開催中ですね

すでに終了したオリンピックですが、多くの方々が選手の皆さんの姿にたくさんの感動をもらったのではないでしょうか。また、中には、オリンピック種目にあこがれや夢をもったお子さんもいたかもしれません。コロナ禍の開催には賛否両論ありましたが、オリンピックそのものには大きな力があることを強く感じました。そして、今、開催されているパラリンピック。アスリートの高みを目指す姿は美しいものです。

マスクは、ぜひ不織布製で！

１年生の中に、２重マスクのお子さんを発見。不織布マスクの上に、布マスクをしていました。実験結果によると、ウィルス等を防ぐ効果は、一般に販売されているマスクの中では不織布製が最も高いようです。今後、マスク購入の予定がありましたら、ぜひ不織布製で。

夏休み作品展の中から、・・・。

長期休業後の作品展を見学するのが、楽しみで楽しみで。「今年はどんな力作があるのかな。」とワクワクでした。一つ一つの作品には、子どもたちの思い、汗や苦悩が浸みこんでいて、それを想像しながら見学するのが、教員冥利につきます。

釘を刺した跡がいくつもあると、「曲がったのかなあ。指は大丈夫だった？」と思ったり、接着の部分が汚れていると、「なかなか付かなかったのかな。テープだとやりやすいけれど、出来上がりは接着剤のほうがいいもんね。」等。苦心の作に、同情と同感、そして感動。

ここでは、すべての作品の中から見つけた力作に「校長賞」を贈りましたので、紹介します。

６年 中村泰雅さん
＜手紙入れ＞

４年 草薙里桜さん
＜ろうそくランタン＞

二年 高橋けいじさん
〈和紙で作った風鈴〉

１年 鈴木こうたさん
＜おにやんま＞

３年 千葉陽太さん
＜新聞紀行ｼｰｽﾞﾝ２＞

６年 木元翔太さん
＜グローブ立て＞

５年 佐々木桃花さん
＜フルーツ小物入れ＞

３年 皆川煌星さん
＜きょうりゅう＞

どの学年も、長テーブル３台分に所狭しと展示されていました。また、上記の写真にはありませんが、親子の触れ合いの機会として取り組んだ活動の様子を、写真とコメントでまとめた作品もありました。これまで、夏休みの作品と言えば、「子どもの作品」というイメージがありましたが、家族で楽しんだ行事や活動を一緒にまとめるのも、今後の方向付けになるかもしれません。